

出雲市の原子力防災の取組状況について

平成 3 0 年 3 月 2 8 日

総務部防災安全課

平成29年度の取組状況

1. 島根原子力発電所1号機 廃止措置計画認可に関する意見の提出について

(1) 廃止措置計画に対する意見

①平成29年6月27日 《参考資料1》のとおり》

平成29年4月19日に原子力規制委員会から廃止措置計画が認可されたことを受け、市として「島根原子力発電所に係る出雲市民、安来市民及び雲南市民の安全確保等に関する協定」に基づき、中国電力株式会社に対し、意見を提出した。

市からの意見提出の際、中国電力株式会社から地域住民の安全確保及び環境の保全を最優先に、適切に対応していく旨の返答を受けた。

②平成29年7月7日 《参考資料2》のとおり》

島根県から当該廃止措置計画について、「『島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定』に係る覚書」に基づく意見照会があり、市としての意見を回答した。

(2) 島根原子力発電所1号機 第1回施設定期検査実施に係る意見

①平成29年12月25日 《参考資料3》のとおり》

平成30年1月18日から実施の第1回施設定期検査実施にあたり、協定に基づき、中国電力株式会社島根原子力本部に対し、意見を申し入れた。

申し入れた意見に対し、中国電力島根原子力本部から安全かつ遺漏なく実施するとの回答を受けた。

2. 原子力災害に備えた安定ヨウ素剤の事前配布の実施

(1) 概要

原子力発電所で事故が発生した場合、国の指示に基づき、一時集結所で緊急的に安定ヨウ素剤を配布することとしているが、避難の際に受け取りが困難であると想定される者には、安定ヨウ素剤を事前に配布する。

出雲市では今年度初めて実施し、今後は毎年度実施していく予定。

(2) 配布対象者

UPZ圏内に在住している者のうち、緊急時に速やかな安定ヨウ素剤の配布を受けることができないなどの事由があり、事前配布を希望した者

(3) 事前配布の実施状況

①日時：平成30年2月8日（木）

1回目/15:00～17:00 2回目/19:00～21:00

②場所：出雲市役所1階 くにびき大ホール

③申請者数：69世帯 254名

- ④参加者数：【1回目】17世帯 63名分 【2回目】5世帯 15名分
※実施日当日は、雪の影響により来場困難な状況も生じていたため、申請者に対して、再度配布日を設定し改めて案内する旨の連絡も行なったうえで、来場可能な申請者に対しては事前配布を実施した。
配布再設定日：4月9日（月） 15:00～

3. 広島県内の避難先自治体との意見交換

(1) 内容

避難先自治体を訪問し、国、県、市から原子力防災対策、広域避難計画について説明し、質疑を含めて意見交換を実施。また、避難所、避難経由所及び福祉避難所に関する調査を依頼した。

(2) 実施時期

平成29年5月～8月

(3) 参加機関

内閣府、広島県、島根県、出雲市、避難先自治体（広島県内12市町）

4. 出雲市原子力発電所環境安全対策協議会

(1) 平成29年6月2日 第6回協議会開催

議題：①廃止計画に係る一連の流れについて

②島根原子力発電所1号機 廃止措置計画の概要

(2) 平成30年3月28日 第7回協議会開催

議題：①島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果について

②島根原子力発電所1号機 廃止措置状況について

③島根原子力発電所2号機 新規規制基準への適合性確認審査の状況について

④島根原子力発電所2号機 中央制御室空調換気系ダクトの腐食事象について

⑤出雲市の原子力防災の取り組み状況について

5. 原子力安全顧問会議

(1) 顧問設置の概要

①目的

本市が実施する平常時及び緊急時における原子力災害の防災対策、本市に影響を及ぼす原子力施設の安全対策等について、技術的観点から幅広く指導、助言等を得ることを目的として、出雲市原子力安全顧問を設置する。

②顧問 6名

(五十音順)

	名前	専門分野	所属・職名
1	赤塚 洋	原子炉工学	東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所 准教授
2	香川 敬生	強震動地震学	鳥取大学大学院 工学研究科 教授
3	清 哲朗	放射線医学	岡山画像診断センター 副院長
4	高橋 知之	放射線安全管理工学	京都大学 原子炉実験所 准教授
5	野口 和彦	原子力防災 リスクマネジメント	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授
6	橋本 憲吾	原子炉物理学	近畿大学 原子力研究所 教授

③任期 2年（平成29年9月1日～平成31年8月31日）

(2) 実施状況

平成29年5月16日 第3回顧問会議開催

6. 島根県原子力防災訓練（出雲市訓練）（主催：2県6市）

(1) 目的及び経緯

原子力災害に備えた組織防災力の強化及び市民の原子力災害時における正しい対応の知識習得を目的に、平成24年度から実施している。

(2) 実施状況及び参加者

平成29年11月17日、19日 参加者142人

情報伝達訓練、災害対策本部緊急招集訓練、広報活動訓練、住民避難訓練

7. 出雲市原子力災害に備えた広域避難訓練（主催：出雲市）

(1) 目的

平成26年3月に策定した「原子力災害に備えた出雲市広域避難計画」で定めた、市外避難先への避難経路、避難経由所、避難所等の視察等を行うことにより、市民の原子力防災に対する理解の向上を目的とする。

(2) 実施状況

- ①平成29年10月31日 参加者：14名
避難地区：今市地区
避難先：広島県廿日市市
- ②平成29年11月7日 参加者：15名
避難地区：朝山地区
避難先：広島県大竹市

8. 原子力防災に関する啓発事業（主催：出雲市）

(1) 出雲市原子力関連施設見学会

①目的

原子力に係る関連施設を見学することにより、原子力発電の仕組み、原子力防災対策、島根原発の安全対策等についての理解を深める。

②開催日及び参加者

平成29年7月28日 参加者：9人

③見学内容

- ・島根県原子力防災センター（松江市内中原町）
施設見学、放射線測定体験
- ・島根県原子力館（松江市鹿島町）
- ・島根原子力発電所（ 〃 ）
バス車中からの発電所構内視察

(2) 出雲市原子力学習会

①目的

原子力発電の仕組みや放射能、発電所の安全対策及び原子力防災対策等についての理解を深める。

②開催日及び参加者

平成30年1月27日 参加者：45人

③学習会テーマ及び講師

テーマ：放射線が及ぼす人体への影響
講師：東京大学 工学系・情報理工学系等安全衛生管理室
特任専門職員 飯塚 裕幸 氏

9. 安定ヨウ素剤の備蓄用保管庫の整備（H29～30年度）

UPZの各地区コミュニティセンターに安定ヨウ素剤を分散配備するため、保管庫を設置する。

①設置状況

- 平成29年度 11地区
- 平成30年度 20地区（予定）